

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 玉野市			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 706-8510 玉野市宇野 1 - 2 7 - 1		
本票作成	部署名：市民生活部環境保全課						
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務				
事業の概要	地方公務（職員数：638名「令和6年度 玉野市の給与・定員管理等について（6 職員数の状況）」）						
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地		
	①	玉野市東清掃センター			玉野市槌ヶ原3072-5		
	②	玉野浄化センター			玉野市宇野3-42-1		
	③	玉野市庁舎			玉野市宇野1-27-1		
	④	玉野競輪場			玉野市築港5-18-1		
	⑤	玉野市斎場			玉野市槌ヶ原3094-7		
	⑥	玉野市西清掃センター			玉野市深井町9-18		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 6 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)						

計画期間	令和 7 年度 ～ 令和 11 年度 ( 5 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 39.4 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満	
		<input type="checkbox"/> 原単位基準			○					
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 6 年度)			目標年度 (令和 11 年度)						
	10,431 t CO <sub>2</sub>			6,312 t CO <sub>2</sub>						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和 6 年度) の排出量					
	①	玉野市東清掃センター			6,619 t CO <sub>2</sub>					
	②	玉野浄化センター			1,470 t CO <sub>2</sub>					
	③	玉野市庁舎			1,314 t CO <sub>2</sub>					
	④	玉野競輪場			499 t CO <sub>2</sub>					
	⑤	玉野市斎場			337 t CO <sub>2</sub>					
	⑥	玉野市西清掃センター			186 t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5 箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率(%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

2024年3月に策定した玉野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）では、2030年度において基準年である2013年度比において温室効果ガス排出量60%削減を目標としている。2013年度の県報告温室効果ガス排出量は14,500tco2であるため、2030年度の排出量目標は5,800tco2となり、本温室効果ガス排出削減計画の目標年度である2029年度においては6,312tco2（2013年度比56.4%削減）となる。目標削減率は次の計算式により算出した「（基準年度（令和6年度）排出量－目標年度（令和11年度）排出量）／基準年度排出量≒39.4%」

【目標削減率達成のための推進体制】

令和6年3月策定した玉野市地球温暖化対策推進計画（事務事業編）に基づき、全庁的に省エネを推進し、また効率的・効果的なエネルギー機器及び太陽光発電設備の導入を促進する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全事業所	使用済封筒の再利用や使用済用紙の裏紙利用等、紙資源使用の合理化を図った。ごみの排出時における分別、資源化の徹底した。ミスコピーの削減、不要な印刷の抑制した。抜本的な用紙削減対策として、電子文書管理システム、電子決裁システムを導入した。クールビズ・ウォームビズ、軽装業務の試行の実施により、適切なエアコン温度の設定とした。ノーマイカーデーを実施し、ガソリン燃料の削減と通勤方法を見直すきっかけとした。ノー残業デーを設け、ワークライフバランスの充実と使用電力削減に取り組んだ。街路樹灯をLED灯に変更した。誘蛾灯を水銀灯からLED灯に変更した。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
全事業所	・ P P A方式による公共施設への太陽光発電設備導入を予定。
玉野市庁舎	・ 本庁舎を令和8年度供用開始予定にて建設中。新庁舎はZEBready認証取得。
玉野市東清掃センター	・ 玉野市東清掃センターの老朽化対策として、ゴミの削減を進めるとともに、他市と共同で焼却施設を建設する。令和9年度の供用開始に向け整備を進める。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	新市役所本庁舎及び消防本部庁舎への太陽光発電設備設置予定。
その他	無	

【その他特記事項】